

弓道ながの

第5号

発行：長野県弓道連盟
会長 古澤 博
〒389-2253
飯山市中央橋通り
TEL 0269 (62) 4121
編集：県弓連広報部
印刷：㈱長野企画会議

再び会長になって

長野県弓道連盟 会長 古澤 博

二月二日の県弓連の役員総会で再度会長に推薦され、指名を受けました。事の重大さを痛感し、弓道人の誇りと思い、忍耐強く、気力、精神力を駆使して、明日への希望に向って邁進したいと存じます。

しかし、世相を達観しますと、景気の低迷、人員の削減による失業者の増大は、時を追って国民生活を圧迫する状態になることが感じられます。県連は平成15年を迎え、大きな期待と希望を以って、前進していかねばなりません。弓連各位のお力添えにより、一致団結して試練を乗り越え、成果を上げ、諸施策を完遂しなければなりません。会員の皆様のご支援を賜わり、ご指導、ご鞭撻を心から願ってやみません。各位には平成14年の自己の行事参

加計画を参考にして、全弓連の計画に従い、県事業計画に基づいて、競技、審査、講習に予定を立て、実行に移すべく頑張ってください。私も及ばずながら、勇を奮って参加し、県弓連の一段の飛躍に効験すべく、努力を惜しまないつもりです。

全弓連の評議員会、又今年から始まった審査研修会を終了し、講師研修会も三月五、六、七日に実施され、平成15年の始動準備態勢が整って発進しようとしています。我々長野県連としても団体強化は着々と進み、女子講習会、春季講習会、春季の審査が進行し、ローカル大会も各地で始まります。

近年全国的に女子弓道が盛んになり、女子部が創設されています。県弓連として、如何すればと一部の女子に



長野県弓道連盟
ホームページ
<http://kyuran.cool.ne.jp>

諮問をし、回答を求めています。又全弓連から出題されている中学校弓道です。県弓連の役員は勿論、会員の皆様のご意見を伺いたく思っています。宜しくお願ひします。

報告

平成十五年度
役員総会報告

理事長 櫻井 耕三

二月二日、長野第一ホテルにおいて、平成十五年度役員総会が開催され、次に掲げる議題について報告、審議されて決定した。

- 1 平成十四年度事業報告
- 2 平成十四年度決算報告
- 3 会計監査報告
- 4 報酬、旅費支給規定の一部改正
- 5 平成十五年度事業計画(案)
- 6 平成十五年度予算(案)
- 7 役員改選

詳細は総会資料によることとし、特記すべき事のみを報告する。

県体協からの補助金が半額になること、連盟の会計が逼迫していることから、報酬・旅費支給規定の一部が改正された。

常任理事・理事・監事・会計が一万五千元減。事務局長一万元増。
審査員・講師二千元減、審判員・運営員千円減。

ねんりんびつく大会参加補助金が半額になることから、連盟からの負担金も半額に減額。

国体・全日本選手激励会と県営飯田弓道場は属施設完成披露祝射会を兼ねる。

全弓連会員のシステム化について

5月までに完成できる予定であり、今年度から会員の登録が必要なくなる。

広報部より

長野県弓道連盟史の発刊に向けて準備を始める。平成十七年三月発刊予定
役員改選について

蟻川副会長逝去による新副会長には小林武氏、新指導部長に小池梨枝子氏、田口光三理事の辞任の後任に重田功氏、新理事に近藤明子氏が選任された。

また、会長が北信越地区代表理事に選出されたことにより全弓連評議員には山川副会長が選出された。それ以外の役員は全員留任が認められた。

支部長・評議員の交代は次のとおり。

- 松本支部 支部長 杉田 博氏
- 諏訪支部 支部長 小池正夫氏
- 評議員 石井幸一氏
- 小諸支部 支部長 土屋 隆氏
- 上小支部 評議員 宮川 登氏

目標に向って

長野県弓道連盟副会長 山川 茂樹



長野県弓道連盟

の新しい年、十五年
年度が始つてもう
三カ月が終わろう
としていきます。二
月の役員総会で新
年度の事業計画および運営のための予算、事業を推進する新役員も古澤先生を会長に再任し力強く発足をしました。

相変わらずの厳しい社会情勢の中、県の財政事情により今年から県体育協会の補助金も大幅に削減される見通しで県弓連の予算も当然厳しいものになっていきます。従つて各事業部としても効率の良い事業運営が望まれるところであります。

このような状況の中で活発に活動を盛り上げていく活力は、会員の皆様の積極的な事業への参画にあるのではないかと思います。具体的には一人ひとり、審査に、講習会に、全日本選手権や全国的な競技会等に、目標をもって取り組み、自分自身の精神的なもの、技術的なものを高め、高めることによ

り周囲にその輪を広げていくことが、県弓連の発展にもつながります。特に称号受有者の先生方には地域での初心者や、中堅層の指導に協力をお願いしなければならぬと思います。

県弓連の会員数は全国的には十指の中に入っていますが、十四年度の優秀地連の成績は全国高等学校弓道大会の得点のみ、高校生の活躍が目立っています。十四年度県連の称号受有者の年令分布をみますと、七十才以上が五十%、六十才台が二十%と高齢化がすすんでいきます。弓道のもつ特殊性がもし

れませんが、中堅層として活躍のできる四十才台から五十才台が二十七%と、他県連と比較して長野県連は高い数字を示しているものと思われま

このことは私達指導者にもその責任の一端があるものと反省しているところ

なつたとき一人でも多くの方が、武道としての弓道に親しみ継続できる環境を、私達はつくっていかねければならないと思います。

平成十四年度通常評議員会が、二月二十六日に全弓連中央道場二階講堂で開催されましたので概要について報告します。(機関紙弓道三月号を参照)
評議員一〇八名中、出席九二名、委任状十三名で評議員会が成立して、鴨川全弓連会長が議長となつて議事が進行されました。

景気の低迷や失業の増加等厳しい社会情勢を前段で述べ、私達は弓道人の誇りとして忍耐強く、気力と精神力を駆使して明日への希望にむかつて邁進することである。十四年度は会員の協力のもと素晴らしい成果を得て終了した。新年度も大きな期待と希望をもって進めることができる。国体が大きく変わろうとしている現状を残念に思うと述べ、日本の伝統文化としての武道の筆頭に位する弓道として独自の立場で名譽と栄光のため諸策を講じなければならぬ。全国会員の協力と活躍をお願いしたい。

- ・二号議案 十五年度事業計画書
- 地区指導者講習会は各連合会に移行、新しく全国中学生大会を計画

- ・三号議案 十五年度行事計画
- 行事計画表による

- ・四号議案 十五年度分担金

- 長野県連分 二十九万一千円

- ・五号議案 十五年度収支予算書

- 一般会計、特別会計七口

- 収支予算総括表によりますと

- 当期収入金 三三三、八八八千円

- 当期支出金 三五二、五二〇千円

- ・六号議案 国民体育大会削減に伴う出場枠について(二十二%削減)

- ・七号議案 特別委員会の設置について

- 諮問事項 (7)名誉会員制度の処遇検討について、(1)国際組織の開設準備

- について、(2)全国中学生大会の開催

- 準備について、(1)国体二十二%削減

- による各連合会の出場枠について。

- 以上報告事項を含めすべての議案が

- 提案どおり可決されました。

- こうして県弓連、全弓連とも新しい

- 年度の事業計画が決定しました。厳しい

- 社会情勢と変革する環境の中です

- が、それぞれの目標に向って正しい弓

- 道の修練に励み、弓道をとおして人生

- を豊かにしようではありませんか。

指導部長を拜命して

常任理事 小池 梨枝子



この度指導部長という大役を仰せつかり、戸惑いと共に精一杯頑張らねば、の必死な覚悟でスタートライ

ンを切りました。長年の方針を継続しつつも、そこに女性ならではの考えを加えさせて頂きながら進めて参りたいと存じます。ご承知の通り長野県の弓道人口は全国でもかなりの上位に位置していますがその実態は、と申しますと高校生が圧倒的に多く一般の、しかも女性はまだまだ少数であり活躍内容もいまいちの感があります。男女共に活発化させたいという願いが指導部の大きな目論見ではありますが、先ずは女性陣を増やす事に力を注ぎたいと思

頂き、煮詰め、その方向に持って行きたいと考えています。部の活動を通して女性同士の連帯感が強まり、励まし

助け合い刺激を与えあつて射技の向上につなげて頂く。成果が上がって女性

が元気になったら周りの男性諸氏も一

緒になって今まで以上に活発化するの

では、と願っております。また、各地

区で催される初心者教室ですが、受講

者数の割には定着する人の少ない事が

悩みであり、アフターケアをどうす

べきかの対策も課題です。より活躍し

て頂きたい長野県弓士の育成推進を目

指し、暗中模索ではありますが一生懸

命計画を練りながら実行に向けて行き

たいと思えます。皆様方にはこれ等の

方針をお汲み取りの上、ご指導ご協力

のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

◆**女子講習会**◆

○3月16日

長野運動公園弓道場

参加者43名

塩尻市営弓道場

参加者40名

講師 ◆長野会場

小池 房子 教士

◆塩尻会場

近藤 明子 教士

◆指導者

小池 梨枝子 教士

尾野千代子 錬士



両会場とも多くの女性弓士が参加した。本年は特に「立射での櫛さばき」について講師による模範射が行われ、射技研修も時間を超過しての熱心な指導ですばらしい女子講習会となった。



清水克也教士 体育振興で有功章受賞



○3月20日

長野県庁講堂

長野県体育協会

では、平成14年度

のスポートス振興功

績者を招き表彰式

を行った。

弓道の部では、清水克也教士が、県知事でもある田中康夫会長から、有功章を授与された。

略歴

昭和九年七月九日生・上田市緑が丘

全日本弓道連盟教士六段

小笠原流相位弓免許

長野県弓道連盟常任理事、上田市弓道

協会会長、日本体育協会公認C級コー

チ、元株八十二銀行員、医療法人安藤

病院事務局長、上田高校同窓会事務局長

先生は、厳父卯三郎氏の五男として

出生、兄弟互いに影響を与え合いつつ

成長、県立上田高校を優秀な成績で卒

業、昭和28年八十二銀行に入社、業務

の向上に情熱を傾注し、上司、同僚に

も非常に親しまれた。

八十二銀行上田支店に勤務していた

昭和40年に、期するところあつて木下

貞澄先生に師事し、弓道の手ほどきを

受け、以来上田城の中にあつた市営弓

道場で練習に励んできた。

また積極的に各種の大会にも出場、

優勝や、入賞をするなど、輝かしい成

績を残してきた。

松本支店に転勤となつたこのころ、

葵弓道会に入会、百瀬豊師範に師事し

た。百瀬先生は今亡き人であるが、

先生との出会いが一層弓道に没頭させ

ることとなつた。

昭和47年6月錬士、翌日六段合格の

栄に輝き、さらに平成3年5月、教士

となつた。

この間、長年勤務した八十二銀行を

退職し、医療法人安藤病院に事務長と

して勤務、病院の健全運営に尽力し

た。12年の大阪での「ねんりんピッ

ク」には監督としても出場した。

一方母校への恩返しと、上田高校同

窓会事務局長に就任し、大いに活躍し

た。また平成13年4月からは上田市弓

道協会会長に推挙されて、伝統の灯を

守りつつ、斯道の普及と振興に尽力中

である。

そのほか、県弓連常任理事・競技部

長・上田市体育協会の理事も兼任し、

常に旺盛な行動力と責任感で精力的に

活動を展開している。上田市のスポー

ツ教室や長野大学弓道部・東部町弓道

協会へも指導に出かけ、底辺拡大に力

を注いでいる。

家庭は内助の功大の節子夫人、二女

の泉さんの三人家族。

今回の受賞をお祝い申し上げるとと

もに、先生の今後のご活躍とご健勝を

心からお祈り申し上げます。

女子講習会を受講して

松本支部 西澤 永子(参段)

本年度の女子講習会では、樺さば

き、介添え作法を中心に、射技に至る

まで、懇切丁寧な指導が行われまし

た。

今回の受講で改めて感じたことは、

「体配における気配りの必要性」でし

た。

弓道とは本質的に自己との闘いで有

るため、割と自分本位な動作をしてし

まいがちですが、体配での気配りの無

さが同じ立場の動作の乱れになり、ひ

いては自分自身の射技の乱れに発展し

てしまうのでは無いか、と考えさせら
れました。

今まで自分は通常練習と言えば、的

前での射技が中心となりがちで、体配

は「取りあえず出来れば……」程度で

あつたことは反省すべきことでした。

又、女子講習会の利点として、中央

からの最新の情報(今回は立射礼の樺

さばき)が伝達されること、樺がけの

諸動作を集中して受講出来ること、そ

れと女子同士の親睦が図れることもあ

げられます。

熱心な講師の指導のもと、有意義な

一日となりましたが、このような講習

会が年に一回だけでなく、度々開催さ

れることを希望いたします。

●●● 会議報告 ●●●

○3月9日/長野第一ホテル/長野市

県弓連 部長会

(議題)

・各事業部における経費節減

・各事業部間の連絡について

○4月3日/善光寺弓道場/長野市

▼長野県弓道連盟史の入札・業者決

定・契約について

第58回静岡国体勝利を目指して

長野県弓道連盟強化部長 外園 公毅



新聞、弓道誌等で国体の削減が喧伝され、スポーツ関係者にとっては一大関心事になっています。弓道

は全体の削減率15%以上の22%が提示され、大枠は示されていますが、いつからなのか、北信越ブロックはどうなるか等の細部は未だ不明な所があります。

強化部としても戸惑いはありますがどんな事態にも対応できるように準備は怠りなく進めています。

昨年12月に少年、成年共に一次予選会を終了し、国体強化指定選手として自覚を持って冬季の練習を積んでもらっています。それぞれ強化合宿も行ない、冬は殆んど練習できない遠的を主体に、特に少年は遠的射法の早期確立を目的として、それぞれ選手に修正箇所を指摘、課題の確認を行い、次回にその達成度合い、調整度合いを見るといのが今の状況です。

少年については3月2日に二次予選

会を終了し、男女各6名までに絞り込みました。昨年より強化部でジュニアの強化を行うようになって、少年の国体選手選考の難しさを痛感しています。

長野県の場合高校に入って弓道を始めた人が殆んどで、射形が固まっている人は少なく、短期間の内に良い方にも悪い方にも容易に変化してしまう。その辺の見極めができる眼を養うと共に日ごろ選手と接して一歩選手のことを知っている高校の弓道部顧問との連携を密にする必要を感じます。初めからきちんと正しい射を教えている高校の選手は修正巾も小さくてすみますが、そうでない高校の選手は最初から出直したいな形になり、限られた短い時間の中では非常に無駄でもったいなく思えます。また北信越5県の半数近くを占める長野県高校弓道部員の多さの利点が活かされるどころか、多さ由に一握りの優れた選手を見つけにくい不利さの方を強く感じます。どんぐりの背比べにならないように県弓連も高体連と連携してレベルアップを図る手段を講ずる必要を感じています。

強化部は単年度の成果を目指すのは勿論ですが、長野県の次世代を担ってくれる長いスパンでの若手の育成に

も軸足を置いています。辛抱のいることですが、昨年あたりから確かな手応えを感じています。

県弓連人事(新任発令のみ)

平成15年2月2日付

副会長 山川 茂樹

右全日本弓道連盟評議員に委嘱する。

小林 武

右副会長に委嘱する。

小池 梨枝子

右常任理事を任じ指導部長を命ずる。

重田 功

近藤 明子

右理事を命ずる。

土屋 隆(小諸支部長)

杉田 博(松本支部長)

小池 正夫(諏訪支部長)

宮川 登(上小)

石井 幸一(諏訪)

右評議員を命ずる。

奥平 章夫(塩尻)

小林 義一(長野)

右指導部員を命ずる。

富永 義美(上伊那)

近藤 明子(松本)

木下 克彦(飯伊)

右競技部員を命ずる。

大山 孝吉(長野) 右広報部員を命ずる。

弓道教歌

○のびあい……延合は弓手に定め妻手にしめ、腹より総身筋骨をはれ小笠原流持満の歌。引納めて持満の域に至ったならば、弓手は中るべき位置に定めて、いささかの動揺もなく、妻手も中るべき位置に確かに落着かせて肩髀腕にゆるぎなく、その上引くとなくゆるすともなく、ただ純一無雑となつて丹田を中心として全身の筋骨の緊張を続けて発射すべきである。

○たもちとは……持満とは矢束一杯、ひき詰めて、放れ際まで息にさわらじ

大和流持満の歌。持満と云うのは己が引くべき矢束一杯に引き詰めて、その後は引くとなくゆるすともなく、伸び合つて、放れてしまつても、悠悠淡淡として、息苦しくならない事をいうのである。

○たもつ……持満に同じ、矢束一杯引き納めること。また伸び合つて放すまでの間の努力のことである。

◆北信越弓道連合会

会長・理事長会議報告

平成15年3月15日 上越市

県弓連出席者 会長 古澤 博

理事長 桜井 耕三

決定事項

平成15年度事業計画

一、北信越弓道連合会会長理事長会議

(1) 8月22日新津市(北信越国体)

(2) 11月15日上越市(北信越選手権)

二、北信越四・五段講習会

(1) 5月25日(信越の部)

飯山市弓道場

(2) 6月22日(北陸の部)

石川県立武道館弓道場

三、北信越称号受有者講習会

(1) 5月25日(信越の部)

飯山市弓道場

(2) 4月5日・6日

石川県立武道館弓道場

四、北信越女子講習会(錬士以上)

6月21日・22日

福井県立武道館弓道場

五、北信越地区指導者講習会

5月31日・6月1日

石川県鶴来町武道館弓道場

六、学校弓道指導者講習会

7月25日・26日 飯山市弓道場

七、地連幹部指導者講習会

16年2月28日・29日

富山県営弓道場

八、全日本選手権大会

北信越ブロック予選会

7月27日 大島町弓道場

九、第24回北信越国民体育大会

8月23日・24日 新津市弓道場

十、第33回北信越弓道選手権大会

11月16日 上越市弓道場

十一、北信越地域連合審査

(1) 6月1日(信越の部)

飯山市弓道場

(2) 7月6日(北陸の部)

石川県立武道館弓道場

(3) 10月19日(北信越の部)

長野県営飯田弓道場

十二、北信越地区錬士臨時中央審査

6月8日 福井県立武道館弓道場

十三、北信越地区臨時中央審査

9月27日・28日

新潟市鳥屋野町弓道場

立順決定

第24回北信越地区国民体育大会

・少年男子 ①石川県②長野県

③福井県④新潟県⑤富山県

・少年女子 ①新潟県②石川県

③富山県④福井県⑤長野県

・成年女子 ①長野県②石川県

③富山県④福井県⑤新潟県

第33回北信越弓道選手権大会

・有段者の部 ①富山県②福井県

③長野県④新潟県⑤石川県

・女子の部 ①新潟県②石川県

③富山県④福井県⑤長野県

・称号者の部 ①長野県②富山県

③石川県④新潟県⑤福井県

ITシステム 会員管理システム化

全日弓連のコンピュータによる会員システムのデータ作りには各支部を通じてご協力をいただいております。

おかげさまで、ほぼ予定どおり運んでおります。

生年月日などいくつか取得した会場名の必要性など、いろいろとご意見もありましたが全国統一されたデータ基準でありますのでご理解をお願いします。

この運用にあたってはセキュリティ

とプライバシー保護についてご意見をいただいておりますが、各地連のパソコンにVPN(バーチャル・プライベート・ネットワーク)を構成するソフトを入れることにより、地連のコンピュータと全弓連が管理するデータベースは閉じたネットワークシステムとして運用されデータ転送は暗号化されるので万一外部から進入されてもその中身はわからないようにされています。

特定の人だけがそのパソコンを使用するようパスワード管理を厳密にし、機密保持には万全が期されます。

審査の受審者名簿管理や、全日本弓道大会等の大きな大会のプログラム作成、機関誌「弓道」の購読者管理、名誉会員管理や称号者名鑑の作成などにも有効利用されていく予定です。

会員みなさんのご協力とご支援に対して厚く感謝申し上げます。

(事務局長)



審査合格者

○特別中央審査

◆錬士の部 12月22日 東京

掛川 渡(佐久)

土屋 芳子(上小)

◆教士の部 12月22日

宮下 重敬(長野)

○関東地区連合審査

◆五段の部 3月2日 東京

田中 利彦(佐久)

水田 明美(上伊那)

安藤 教光(上小)

◆錬士号取得特別講習会

○15年2月5日～7日(東京)

この特別講習会は、後進の指導や、弓道普及に貢献しながらも職業や、健康などの関係で錬士の称号を取るチャンスに恵まれない人を対象に、各地連の推選で受講者を選定し3年ごとに開催されている。

全国から56人が受講、新錬士が誕生した。

県関係錬士取得者

宮本 晴治(大北)

金井 まさ代(長野)

弓矢祭事

歴史と共にある弓道

駒ヶ根市

高鳥谷神社矢納めの神事

駒ヶ根市の北東高鳥谷(たかずや)山(一三三三m)の麓に高鳥谷神社があります。古くより弓矢の神事が行われていましたが、途中途絶え正徳二年(一七二二)復興され現在に伝わっています。毎年十月第一土か日曜日に行

われます。古式にのっとり奉納神事として伝統を守っています。

弓子(射手)は五地区より二名づつその地区にある家の後継者のみで選出されたが現在は二男三男も選ばれている。射法は諏訪御射山の流れを汲み、高遠藩岡野宗八郎によって伝えられた日置流で文書はなくすべて口伝による。

祭神を塚に移し神官の祝詞と矢渡しの後、弓子は袴袴姿で儀式の作法により一歩づつ五回十射、十五間先の五尺二寸(一五八cm)の的を射ます。師匠の合図により一手ごと肌脱ぎをし立ち坐りし約一時間かけます。射場が狭いので斜面打ち起こしでなければ射できません。昔の戦場の弓に似ています。介添えは地区の区長がやはり正装で行います。近隣家族多くの観衆の中で恥じらいを持ちながら行射する姿は伝統を継ぐという気持ちが現れているようです。

昔は地区の七つの神社に矢場があり弓子はその矢場を回って稽古した。その後その場でもてなしを受けることも多かった。今は短期間の練習で十分なことはできない。若者は弓を簡単に考えているが、いざやってみると勝手が

違ふようだ。これからもこの伝統は守らなくてはならないと思っている。師匠の後継者養成と、神事に使う大的の制作が大変だ。

(神社責任総代

弓師匠 渋谷 保男さん談)

(写真 原 泰志さん)

●全弓連機関誌「弓道」3月号

表紙写真・受講中の宮本晴治新錬士



弓仲間紹介

駒ヶ根市東伊那

「やごころ会」

駒ヶ根市の天竜川東の一带に、弓を楽しんで「やごころ(穀)会」があります。この地域は高鳥谷(たかすや)神社の氏子が矢納め神事をしてい

る関係から弓士が多い所です。弓仲間が昭和四十七年弓道場を建設しました。そしてこの会を「やごころ会」と名付け現在に至っています。弓士は四十名近くを擁し駒ヶ根市体育協会弓道部の約半数近くをこの会員が占めております。



会の行事は元旦の新年初射会に始まり毎月の例会を初め年間十六回の射会を開いています。中でも春分の日に行われる故林富美錬士(四十半ばで逝去、市役所職員として勤務の傍ら国体選手候補と

(やごころ会々員 春日 成人さん談)

なつたが病気のため辞退した)を忍ぶ頌徳杯大会、区内五地区による対抗射会、国体出場選手の壮行射会、庄巻は十月高鳥谷神社例祭奉納射会に、この地区名産のマツタケ料理がふんだんに出され、射会の楽しさと共に一杯と料理がなによりの会、大晦日には有志が集まり除夜の鐘と共に全員合わせて百八本射る年越し射会などがあります。市民総合体育大会弓道競技では優勝を一回も他の区に譲ること無く連勝を続けております。これも底辺を支える弓道人口多さに由来するものでしょう。さらに県下各地で行われる弓道大会には東伊那チームとして参加し素晴らしい成績を残しております。

弓道場の隣に小学校の教員住宅がありますが、夜の練習に先生を誘って一緒に弓を引いたり飲んだりすることもありました。だんだん弓仲間も高齢化しておりますが、「やごころ会」も寂れること無く続いております。弓道人口を増やしていくには、まず楽しい会を作っていくことではないでしょうか。

伊那森は やごころ談義に 華そへの 少しだけ飲む 酒の旨さよ

弓仲間 和尚さん詠

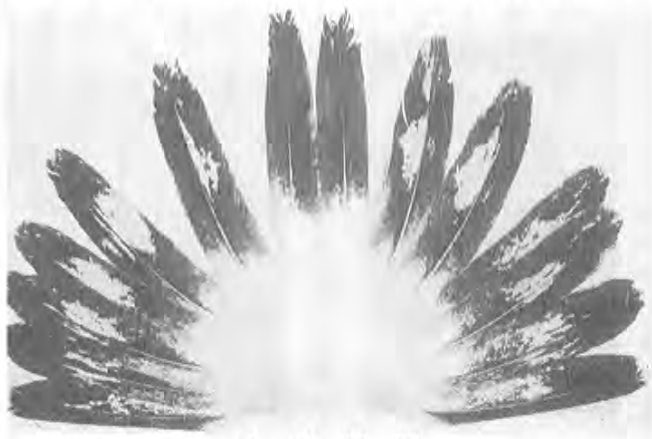
矢羽雑記(二)

世界各国の矢に継いである羽は、実用だけに徹しているものが多いが、我が国では、矢羽に対する深い興味を有しており、一族のシンボルや、旗印、家紋に使ったのみならず、信仰視する傾向にあったのも、国民性の現れであり、加えて我が国の気候や環境の恩恵のあることも忘れてはならないことである。

全国各地には鷹山、鷲巢山、○○鷹山など、往時における鳥類の生息によって、名付けられた地名があり、今なお生息していることを、新聞等でも報じられている。

「おおわし」について若干説明すると現在は「おおとり」(大鳥)と称しているものであるが、おおわしと呼ぶことが正しいという説もある。

その特徴は、くちばし、脚にあり鮮黄色で風切り羽は黒褐色、その他は暗褐色で、基部は白色である。黒褐色の斑紋があつて、きわめて名のとおり大型の鳥でこの鳥だけ尾羽は14枚である。生息は東部アジアに限られていてシベリア、カムチャツカ、北方領土、朝鮮半島、我が国では、北海道周辺が主



大鳥尾羽

だが年々激減しており希少価値は大である。

この羽を矢に矧いだ場合、その美しさは見る者を圧し上品で実に豪壮の二字につきていわれている。

平成14年度の全日本弓道選手権大会取材の際、中央道場で矢羽特別展が開催されており、なるほど素晴らしい物だと拝見してきました。この羽をお持ちの方はどうぞ大切に保管し使つてほしいと感じました。

(次号 尾白鷺・うすびょう) 協力/中島弓具店・中島忠夫氏

第34回春季北信越学生弓道大会

平成15年3月14日～16日
新津市弓道場

成績は次の通り。

◆団体

▽男子①信州大学A(松原剛志・渡辺達哉・松島琢真・平野聡志・高井浩太)②金澤工業大学A(目黒・宮原・久保・咲川・中村)③新潟大学B(石崎・笹川・江部・吉田・河部)

▽女子①信州大学B(山田理恵・松田愛子・谷口真依子)②新潟大学B(遠藤・藤田・久住)③金澤学院大学A(前田・楚山・杉原)

◆個人

▽男子①長瀬博之(金澤大学)②三宅宏樹(信州大学)③阿部広佑(新潟大学)④柴山智志(金澤大学)⑤中村樹(金澤大学)⑥瀬下稔(長野大学)
▽女子①木村水保(金澤大学)②山田理恵(信州大学)③久保朋子(新潟大学)

第21回全国高等学校弓道選抜大会

平成15年3月21日～23日

伊勢神宮弓道場

▽男子個人予選(4射)

岩下 晃規(岩村田) 2中⇨落選

▽女子個人予選(4射)

佐藤由実子(飯田) 1中⇨落選

▽男子団体予選(12射)

下諏訪向陽(釜屋、斎藤、小柄洞)

10中⇨決勝トーナメント進出

▽女子団体予選(12射)

下諏訪向陽(上原、近藤、田中)

6中⇨落選

▽男子団体決勝トーナメント

1回戦(12射)

五 泉 10-10 下諏訪向陽

(新潟)

(競射4-3)

▽同準決勝(12射)

堺港工 9-9 幸田

(鳥取) (愛知)

(競射6-5)

富山一 9-8 安房

(富山) (千葉)

▽同決勝(11射)

堺港工 10-9 富山一

(堺港工は初優勝)

▽女子団体準決勝(十二射)

丹 生 8-8 秀岳館

(福井) (熊本)

(競射2-0)

妻 11-9 土佐女

(宮崎) (高知)

▽同決勝(12射)

妻 11-11 丹 生

(競射3-2)

(妻は二年連続二度目の優勝)

私と弓道

上田高校弓道班

山下 真 梨



弓道は、私が一七年間生きてきた中で、もしかしたら一番打ち込んだ事かもしれない。

一見、静かで淡々とした動作の連続のようだが、実際にはその様になるまで、多くの練習を重ね、技と精神を磨かなければならない。この弓道の奥深さに、私は夢中になった。

私が弓道を始めた一番のきっかけは、単に憧れだった。だから、初めての練習が胴造りの姿勢で一時間立っている事だったのは、正直少しがっかりした。しかし、それは今の私の射の一番の基になっている。弓道は、応用技などというものはない。基本しかなく、その基本を自分のものにする事によって射は成り立っていくのだ。しかし、これは簡単な様でかなり難しい。なぜなら、弓道は基本を身に付け

ると同時に精神も磨かなければならぬからだ。

人は誰でも感情を持っていて、怒ったり、イライラしたりという事がある。しかし、その様な気持ちで的に向かっているのは、望む様な射を引く事はできない。また、安定した精神で的に向かっても、ちよつとした手先の狂いや気持ちのゆるみで簡単に的を外れてしまう。こういう所が、弓道の難しい所であり、また奥深く面白くもあるのだ。

弓道は、引く弓の強さの違いこそあれ、男女で対等に勝負できる。上田高校は男女や学年の違いを超えて楽しく活動しており、これも私が弓道を好きな理由だ。

高校の実質二年間の中で、弓道を完全に体得するのは難しい。でも、その二年間で私が得たものは本当に大きい。これからの大会で、自分のしてきた事が出し切れるよう頑張りたいと思います。



各地大会 結果報告

中野冬季100射会 優勝者に土びな贈呈

○2月9日/中野市菅弓道場
参加者50名 第10回を記念して、優勝者には中野土びなが贈呈された。成績は次の通り。

- ①山岸 稔員 85中 (上伊那)
- ②飛知和明弘 74中 (上小)
- ③飯田 圭 67中 (中野西高)
- ④渡辺 和人 67中 (松本)
- ⑤土屋 義雄 67中 (中高)

第12回駒ヶ根市体協弓道部百射会

○2月23日/駒ヶ根市弓道場

当地区の冬季は非常に寒くてどうしても練習不足になりがちですが、それを補うために百射会の盛んな所です。毎年1、2月に3回行われ、3回目も2月23日です。参加者29名で高校生から最高は78才まで一本一本大事に最後まで真剣に行射しました。
過去の最高記録を更新すると書き改め、今年4年振り記録を一本更新して88中に書き改め額することができました。

伊藤綾さんは高校生ながら71中で2位に入る健闘を見せました。

成績は次の通り。

- 1位 山岸 稔員 88中
- 2位 伊藤 綾 71中
- 3位 柴 種徳 71中
- 4位 久保田智恵 70中
- 5位 春日 貴 65中

穂高神社奉射祭弓道大会

○3月17日/穂高弓道場/参加者269名
成績は次の通り。

- ▽一般団体①長野運動公園(山崎利八・伊藤梓・中島勁)②菁莪館(斉藤・広田・渡辺)③混合A(小林・北林・原田)
- ▽一般個人①丸山萬佐巳(安曇支部)

- ②井堀孝雄(長野運動公園)③三村美和(塩尻支部)④渡辺静夫(菁莪館)⑤小林進吾(混合A)
- ▽高校団体①岡谷南(今福香・関眞章・山本雄太)②松本蟻ヶ崎(野原・小野・倉科)③松商学園(奥・竹下・草間)
- ▽高校個人①上条圭太郎(松本深志)②関眞章(岡谷南)③草間みどり(松商学園)④小野耕輔(松本蟻ヶ崎)⑤高橋和也(松本深志)

編集後記

▼編集から発刊迄の裏話や、思いを書いた「編集後記」なんです。今年から新しく広報部員となったばかりで、編集会議にも未だ一回しか出席してないので、今回は、新任のご挨拶をさせて戴きます。

温故知新

故きを温ねて新しきを知らば、
以て師と為る可し(論語・為政)

私達弓士も、先達が残された良いものを学び乍ら、明日の弓界或いは、自分の為に、今何を為すべきか?を「弓道なごの」の紙面を通じて、広く弓士の皆さんと共に考えてゆきたいと思っております。日頃感じていることを、気軽に投稿・寄稿して戴ける様な、環境、雰囲気醸成することに努力していく積りです。と同時に「弓道なごの」が常に弓士の皆さんの身近に感じられるような紙面作りを心掛けてゆきたいと思えます。

▼県弓連の歩みの記念誌の発刊準備も忙しくなってきました。弓士の皆様の貴重な資料をお借りすることがあると思えますが、宜敷くお願い致します。

(大山孝吉)

弓道場用あずち幕、懸垂幕、応援幕製作

株式会社 **アートクリア**

代表取締役 田村 脩

北佐久郡御代田町大字御代田

TEL:0267-32-8161 FAX:0267-32-8163

E-MAIL:kart@seagreen.ocn.ne.jp http://www.makuhata.com/